

これで安心!

年末にやりたいデジタル写真の整理と保存術

スマホやデジカメで撮った写真がどんどん増えていませんか？今はスマホでも高画質な写真や動画が気軽に撮れるため、ついつい撮りすぎてしまうこともありますよね。せっかくの思い出も、整理されていないと見返すのが大変です。年末は、写真整理をする絶好のタイミングです。今回は、簡単な手順で写真を整理し、安全に保存する方法を紹介します。年末にひと手間かけるだけで、来年からの写真管理がグッと楽になりますよ！

写真整理の基本ステップ

大切な思い出をしっかりと管理するためには、整理整頓が大切です。フォルダで分類しておくことで、目的の写真をあとから簡単に見つけることができます。フォルダ名の先頭に「年月日」の形式で日付を記載しましょう。これにより、時系列順に並ぶため非常にわかりやすくなります。例えば、

20240401_入学式

20240813_北海道旅行

20241224_クリスマス会

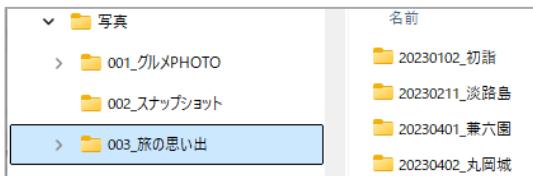
特定の日付をつけにくいようなテーマ、

例えば日頃食べたものの写真や、子どもの日常の写真などは、

00000001_グルメ

00000002_子ども

などのようなフォルダ名を付けるとよいでしょう。



フォルダ名の先頭に日付や数字を付けると、並び順で整理しやすくなります。同じ階層、同じフォルダ内では数字の桁数を揃えるのがポイントです！



フォルダ名の並び順には以下の法則があります。
優先度1: 数字 半角全角問わず、0~9
優先度2: アルファベット 半角全角大文字小文字問わず、A~Z
優先度3: ひらがな・かたかな 半角全角問わず、あ~ん
優先度4: 漢字 JISコード順。
漢字は第1水準は一般的な音読み順、第2水準は部首の順になり、分かりにくいので、先頭文字は数字やアルファベットがお勧めです！

写真データの保存方法

写真データの保存場所は悩ましい問題です。スマホで撮った写真はスマホ内に残りますが、バックアップも兼ねて外部にコピーしておくのがよいでしょう。写真データをスマホから外部にコピーする際、主な保存先として「PCや外付けHDD」または「クラウドサービス」が挙げられます。それぞれのメリット・デメリットを知って、自分に合った方法を選びましょう。

■ PCや外付けHDD

○ メリット:

コストが安い: 一度購入すれば追加費用なく大容量のデータを保存できます。HDDは数TBの容量でも比較的安価です。

自由度が高い: フォルダ構成を自由に設定できるので自分の整理方法で管理が可能です。

× デメリット

故障のリスク: PCやHDDが故障するとデータが失われる可能性があります。定期的なバックアップが必要になります。

更新の手間: 写真を都度手動でコピーする必要があります。



■ クラウド

○ メリット:

どこからでもアクセス可能: インターネット接続があればスマホやPC、タブレットからアクセスできます。

自動バックアップ機能: 自動でスマホからクラウドにアップロードする機能があるため、手動の手間が省けます。

× デメリット

コストがかかる: 無料プランでは容量が限られているため、大量の写真を保存するには有料プランへの加入が必要です。

インターネット依存: オフラインではデータにアクセスできません。大量の写真をアップロードする際は時間がかかります。



クラウドサービス比較

クラウドを使う場合、どれがよいか迷うかもしれません。主要クラウドサービスの容量・費用・特徴をまとめました。

※容量・費用は2024年12月時点のものです。今後変更になる可能性があるのでご注意ください。

・Googleフォト

無料 15 GB

100GB (月額250円)

200GB (月額380円)

2TB (月額1300円)



写真や動画をAIで自動整理！Androidユーザーに特におすすめ。

・Amazon Photos

無料 5 GB (Prime会員は無制限)

100GB (月額250円)

1TB (月額1300円)

2TB (月額2600円)



プライム会員なら写真無制限！家族みんなで使うのにぴったり。※プライム会員でも動画は5GBを超えることで追加料金が必要です。

・iCloud

無料 5 GB

50GB (月額130円)

200GB (月額400円)

2TB (月額1300円)



Appleデバイスとの相性抜群！iPhoneユーザーの心強い味方。

・OneDrive

無料 5 GB

100GB (月額229円)

1TB (月額12984円)



Officeとシームレスに連携！ビジネスユーザーに最適な選択。

・Dropbox

無料 2 GB

2TB (月額1200円)



共有と同期のスムーズさはトップクラス！仕事やプロジェクト管理に最適。

開発室から



今年の新語・流行語大賞に「ふてほど」が選ばれましたが、私は初めて聞きました。「ふてほど」の意味を聞いてもドラマを見てなかった私にはまったく意味が分かりませんでした。ニュースでよく耳にした「50-50」が年間大賞になると思っていました。年々世の中の流行についていけなくなる私ですが、清水寺の今年の漢字「金」は、まだなんとなくついていけそうです。

